

前期基本計画進捗状況評価シート

施 策 名	目 標 (KPI)	総合 戦略	当初値	目標値	実績値【Ｒ３】	実績値【Ｒ４】	実績値【Ｒ５】	令和５年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
【１】人と人がつながり、健康でいきいきと過ごせるまち										
(1) 市民協働のまちづくり	地域活動に参加している市民の割合		55.7%	65%	—	56.9%	50.0%	泉地区の住民を対象に、泉地区地域座談会を3回開催した。また静岡県コミュニティづくり推進協議会・静岡県主催の出張コミュニティカレッジin熱海を誘致し開催した。市民が地域活動について学習する機会を提供することにより、地域活動に興味を持ち参加しようとする市民が増えるよう努めた。	市民アンケート調査により現状の把握に努める。	協働環境課
	協働事業市民提案制度により実施した協働事業数（累計）		0件	5件	—	0件	0件	地域の課題解決を目指すことを目的とした協働事業市民提案制度であるが、制度設計の構築には至っていない。別の仕組みで、町内会を主体とした地域解決の解決に向けた取り組みに対して「地域コミュニティ活動推進事業補助金」「協働の地域づくり交付金」による支援を実施した。	現在実施している町内会を中核とした課題解決の事業について検証し、制度の構築について考えていく。	協働環境課
(2) 地域福祉の推進	地域活動に参加している市民の割合【再掲】		55.7%	65%	—	56.9%	50.0%	泉地区の住民を対象に、泉地区地域座談会を3回開催した。また静岡県コミュニティづくり推進協議会・静岡県主催の出張コミュニティカレッジin熱海を誘致し開催した。市民が地域活動について学習する機会を提供することにより、地域活動に興味を持ち参加しようとする市民が増えるよう努めた。	市民アンケート調査により現状の把握に努める。	協働環境課
	困っているときに家族以外に相談できる人がいる人の割合		87.4%	90%	—	87.5%	88.1%	令和５年度より重層的支援体制整備事業を開始し、各相談支援機関や庁内の窓口で属性や分野を問わず相談を受け止めることで、身近な相談機関において相談しやすい体制の構築を進めた。 また、必要に応じ民生委員による訪問やポスティングの実施により地域の見守りに努めた。	包括的な相談支援体制とアウトリーチの強化により、自ら相談することが難しい人についても相談や支援につなげていく。 地域の見守り体制を確保する上で欠かせない存在である民生委員が活動しやすい環境をつくるため民生委員の役割と活動を市民に周知する。	長寿介護課
(3) 生涯を通じた健康づくり	特定健康診査受診者のうち、生活習慣の改善を実施している人の割合		51.7%	73%	38.0%	40.2%	41.3%	特定保健指導の未実施の方、及び健診結果において受診勧奨値を超える方に対し受診を促す勧奨通知を送付。 特定健診の結果において生活習慣病の改善が必要な方に対し、様々な健康教室を開催。	特定保健指導対象者に対し、より多くの参加者を増やすため通知案内文をわかりやすく工夫し参加に繋げるよう取組む。 特定健診事後に生活習慣の改善が必要なハイリスク者の方を対象とする健康教室に、参加者に繋がるよう通知文や電話等で案内する。	健康づくり課
	特定健康診査の受診率		30.2%	40%	33.6%	34.1%	34.8%	・受診行動別にグループ分けをした特定健診対象者に対象者に合った内容の受診勧奨葉書を送付 ・人間ドック費用の助成の開始 ・受診行動に繋げるため受診すると地元の名産品の引き換えや運動施設の利用ができるインセンティブ事業を実施	・人間ドックの費用助成の拡大 ・職場で健診を受診する方に対して、健診結果の提供を安易な方法で出来るように工夫する。	健康づくり課
(4) 障がい者福祉の充実	基幹相談支援センターの整備		0か所	1か所	0か所	0か所	0か所	地域自立支援協議会を活用し、伊東市、知的・身体・精神障害の各相談支援事業とともにセンターの設置方法や職員配置人数などについて検討を実施。	令和８年度中の設置に向け、伊東市及び各相談支援事業所と事業内容について協議を行っていく。	社会福祉課
	短期入所を提供できる事業所等の確保		0か所	1か所	0か所	0か所	1か所	令和5年5月に共同生活援助事業所（グループホーム：定員男女各10名））が開設されたことにより、短期入所可能な事業所（男女各1名）を確保。	緊急時等の対応ができるよう、市内に短期入所可能な事業所の更なる確保に努めていくとともに、伊東市との圏域でも対応できるよう、各事業所に協力依頼を行っていく。	社会福祉課

施 策 名	目 標 (KPI)	総合戦略	当初値	目標値	実績値【R 3】	実績値【R 4】	実績値【R 5】	令和5年度の取り組み状況	今後の取り組み	担当課
(5) 高齢者福祉の充実	お達者度の向上	○	男性17.90年	男性18.59年	男性 17.93年	男性 17.87年	男性 17.74年	保健事業と介護予防の一体的事業によるフレイル予防や、出前講座、認知症カフェ、講演会などの開催など介護予防や認知症に関する周知、啓発に努めた。また、認知症サポーター養成講座受講者によるチームオレンジを立ち上げ、認知症の方や家族を支える体制づくりを進めた。高齢者就職セミナーや個別相談会の開催など高齢者の活躍機会の創出に努めた。	認知症サポーターのチームオレンジの協力のもと、出前講座や認知症カフェなど既存事業の拡充や強化に努める。また、地域で安心した暮らしにつながるよう、高齢者の外出支援や補聴器購入助成など、必要な施策について検討する。	長寿介護課
	高齢者の集いの場の数（地域サロン・総合事業通所型サービス）		28か所	35か所	28か所	31か所	27か所			
	ごみの総排出量（粗大ごみを含む。）		23,100t	21,483t	19,795t	21,162t	21,638t	町内会や環境衛生自治推進協会などの関係団体による地域清掃活動(全市一斉清掃デーなど)や、空き缶等散乱防止キャンペーンとして、市民や観光客に対し、ごみの持ち帰りを呼び掛ける啓発活動を行った。また、ごみ処理広域化に向けた検討を関係市町と協議を行った。	観光客や宿泊施設等から排出されるごみを含め、生活系ごみ及び事業系ごみの削減に向け、観光関連団体や飲食業関係者に対し、ごみ減量や再資源化に理解がえられるよう啓発活動に努める。また、今後想定されるごみ処理広域化に向け、更なる分別収集、再資源化について検討を進めるよう務める。	協働環境課
(7) 環境意識の向上と地域環境の保全	雑がみ回収プロジェクトの回収量（累計）		660t	1,110t	756t	864t	974t	保存期限満了となった廃棄公文書を紙資源リサイクルとして取扱い、回収量の向上を図った。	引続き、継続的に雑がみ回収活動を進めていく。	協働環境課
	環境教室の参加者数		301人	350人	115人	168人	238人	子どもたちがリーダーとなり家庭で地球温暖化防止に取り組む「アース・キッズ事業」は、市内小学校に参加を呼び掛け、6校の参加となった。	市内全校（7校）に参加していただけるよう、引き続き周知していく。	協働環境課
	公害相談件数		40件	20件	34件	31件	29件	騒音、振動、悪臭等、住民からの苦情等に対し、発生源への連絡等調整を図っている。	引続き、地域環境の保全に努める。	協働環境課
(8) 消費生活の安定と向上	不法投棄処理件数		40件	20件	24件	30件	23件	市民や観光客に対し環境意識の啓発を行うとともに、毎年12月の「不法投棄撲滅月間」として、静岡県と連携し、不法投棄防止統一パトロールを実施した。	警察や静岡県などの関係機関と連携し、不法投棄の取締りを実施するとともに、強化月間はもとより、不法投棄パトロールを適宜、継続して行っていく。	協働環境課
	消費生活相談窓口でのトラブルや被害の相談件数		112件	150件	181件	207件	227件	消費者基本法に基づき、事業者と消費者との間の取引に関する相談に対応した。	消費に対しての心配事などを気軽に相談できる体制づくりと、消費に対する不安解消に努める。	協働環境課
	消費者生活講座の受講者数		0人	100人	0人	12人	21人	消費生活講演会を「インターネットの契約トラブル」と題し、令和5年8月7日開催した。	賢い消費者であるための知識を普及する講座については、開催日時や会場等を工夫してより多くの人が聴講の機会を得られるよう努める。	協働環境課
(9) ジェンダー平等な社会の実現	社会通念・慣習・しきたりにおける男女の平等感について優遇されているのは「男性」「どちらかといえば男性」とする人の割合		67.2%	55.0%	—	69.1%	66.7%	市民アンケート調査により現状を把握し確認した。熱海市男女共同参画推進会議を1回開催し、第2次熱海市男女共同参画推進計画の進捗状況を報告した。	ジェンダー平等を推進するための情報提供やネットワークづくりに努める。	協働環境課
	市の審議会等委員に占める女性比率		22.7%	35.0%	20.6%	20.4%	22.1%	熱海市審議会等の設置及び運営指針により、審議会等の委員の選任について女性委員の割合が30%以上になるように努めることとなっている。企画室から各課に対して指針の周知と審議会設置状況の照会を実施した。	市の施策や方針決定過程への女性の参画拡大に努める。	協働環境課
	町内会役員の女性の割合		6.6%	12.5%	11.9%	8.1%	11.0%	静岡県コミュニティづくり推進協議会・静岡県主催の出張コミュニティカレッジin熱海を誘致し、地域活動等における女性参画の重要性についての講義を開講したことにより、町内会役員等聴講者の地域活動等における男女共同参画の意識を高めた。	基礎情報として各町内会役員（副会長）の女性登用について調査を行い状況を把握しながら、地域活動における意思決定の場での女性活躍を目指す。	協働環境課